

松橋 倫久 様 (エコリーダーコース平成20年修了)

メッセージ -----

寄稿文の依頼があったので、改めてエコリーダーの修了証を見てみたら、平成20年度の修了であることがわかった。もう、10年以上も経っていることに少し驚いた。時が過ぎるのは、早いものだと感じる。私は青森県八戸市に住んでいたもので、新幹線で岩手大学まで通ったことが懐かしい。

講座修了後、国の予算(無料)で環境のeラーニングを学んだ。准カーボンカウンセラーという資格をいただいた。しかし、平成23年3月に東日本大震災で被災したことによって、環境への関心よりも、防災に関する関心が強くなった。そして、普通救命講習を受講したり、防災士の登録をしたりした。

現在取り組んでいることは二つあって、一つは放送大学で、防災に関する卒業論文の執筆である。タイトルは「八戸市内の小学校における防災教育の現状と方向性に関する調査研究」というもので、執筆は終わっており、12月の口頭試問を待つばかりである。もう一つは、気象予報士の資格試験で、こちらは正直あまり勉強が進んでいない。二日間の講習で取れる防災士では、知識的に不十分と思って気象予報士を志したが、文系の私にとってはかなり問題が難しい。しかし、合格できるように頑張りたい。

私の場合、環境から防災へ関心が移ってしまっただが、岩手大学のエコリーダー育成プログラムに参加したことによって、その後の生涯学習につながったと思っている。機会を与えていただいたことに感謝したい。

-----